

第4回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：平成28年3月18日（金） 13:00 - 15:00

2. 場所：宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、薬師寺座長代理、市川委員、倉本委員、山崎委員

(2) 政府側

中村宇宙戦略室審議官、行松宇宙戦略室参事官、高見宇宙戦略室参事官、松井宇宙戦略室参事官

(3) 有識者

中村地球電磁気・地球惑星圏学会前会長

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学・探査における人材育成について

資料1～4に基づき、市川日本天文学会長、倉本日本惑星科学会長、中村地球電磁気・地球惑星圏学会前会長、JAXA宇宙科学研究所から当該分野の人材育成について説明を行った。これらの説明を踏まえ、委員から以下のような意見等があった。（以下、質問・意見等）

プロジェクトマネージャー（以下、PM）の資質として特に大切なのは、困難な状況に陥った時の対応力である。これを養うためには、若い頃に最先端かつ目的のはっきりした衛星の機器開発にしっかり従事させ、様々な失敗とそれを乗り越える経験を踏むことが必要である。

宇宙科学・探査分野の特性を踏まえると、5年の雇用期間では十分な人材育成が出来ず、技術も継承されないため、最長で10年程度安定的に雇用できる環境を整えることが大切である。

現在は論文を中心とした評価システムとなっているため、論文を出しにくい衛星の機器開発の分野を担う技術者は十分な評価を受けられない状況である。論文だけでない新たな評価制度を設けることが必要である。

これまでのPMの資質として、学術的見識と人望が求められていたが、現在ではそれに加えて関係者への説明や予算確保等の能力も必要となっており、負担が大きくなっている。PMの担うべき役割に関して改めて整理する必要がある。

宇宙基本計画を確実に達成するためには、必要な人材を育てるとともに、外国人研究者の招聘等、人的リソースを確保していく必要がある。そのためには既存の取組との連携のみならず宇宙科学探査分野の特性に応じた新たな仕組みも検討していく必要がある。

以上